

Message メッセージ

自民党長野県第二選挙区支部長 務台 俊介
衆議院議員

増田甲子七先生生誕120年記念にあたって

平成30年10月4日は衆議院議員を務められた故増田甲子七先生の生誕120年目の誕生日でした。関川筑北村長からお祝いの席で挨拶をと仰せつかり、私ごときがとは思いましたが、郷土の誉れ高い増田先生の選挙区を引き継ぐ者として光栄な機会と考え準備致しました。改めて回顧録などを拝読し、先生の政治への思いの強さ、そのご功績の大きさに圧倒される思いがしました。

先生は明治31年10月に東筑摩郡坂北村、現在の筑北村にお生まれになりました。松本中学、今の松本深志高校に入学、しかし家業を継いでほしいとの親の希望と学業への思いが相克し、第8高等学校、早稲田大学専門部、京都大学法学部と異色の高等教育を経られ、余りの成績のよさに試験を経ずに内務省に採用され、採用後試験に合格し経験を積まれました。持ち前の正義感、突き詰めてものを考える力、行動力を発揮され、革新的で目覚ましい業績を残されました。本省勤務時に経験された関東大震災の折、2.26事件の折の行動は、戒厳令下で矢継ぎ早に発布した勅令起案、満州統治に関する対満事務局課長としての筋の通った対応が見て取れます。

その後、突如胃潰瘍を患い、戦前戦中、何と10年に及ぶ切歯扼腕の試練の闘病生活となりました。しかし何が幸いするかわかりません。戦後多くの高級官僚が公職追放になる中で、先生は蘇りました。焼夷弾の空襲の衝撃の中、寝たきりであったはずの先生が奇跡的に自分で立ち上がり必死で逃げられたことがきっかけとなり回復されました。内務省に復帰し、任命制の福島県知事、北海道知事を務められ、食料供出、石炭スト解決に当たっての手腕を買われ、第一次吉田内閣で代議士でもないのに運輸大臣となりました。そして3か月後の昭和22年4月の総選挙で長野4区から立候補、見事当選されました。その折の大変さは、先生の回顧録にも綴られています。「間もなく増田甲子七が演説を始めます。声は悪いし演説は下手で、万が一漬物が腐るようなことがないように、漬物樽の蓋はしっかり閉めておいてください」という好奇心を誘う前触れを行って、街頭演説に多くの方を集めたとのことでした。

仕事ぶりを通じ、吉田茂総理に知遇を得られ、自由党の政務調査会長、当選一期目で労働大臣、その後、内閣官房長官、建設大臣、北海道開発庁長官、自由党幹事長などを歴任されました。吉田政権最盛期に閣僚、党幹部を担いました。吉田総理の後は増田総理だとの話が進んだ時期もあったようですが、政界はどう変わるかわかりません。公職追放解除で大物政治家が復帰してから様相が変わりました。その後、先生は佐藤内閣で防衛庁長官を務められましたが、吉田内閣の退陣と共に自らの政治生命は終わったとの気持ちを強く懐き続けてきたと記されています。

先生は昭和54年に引退されるまで12回の選挙で10回の当選を数えられました。私は先生の引退の翌年に、先生のいらした内務省の流れをくむ自治省、今の総務省に入省、奇しくも同じ選挙区から立候補し代議士となりました。現在は、当選一期で大臣を歴任す



▲増田甲子七先生の肖像画とともに

ることは望むべくもありません。しかし、先生の行政官、政治家としての軌跡を紐解くときに、私の立場であればどのように行動しただろうと意識せざるを得ません。先生は、敗戦直後の北海道知事の時代に、かぼちゃと馬鈴薯を食し生活を乗り切ったと述べられています。退職物資摘発の名目で知事官舎に共産党地区委員長が家探しに入ったが、コメも味噌もなく、かえって同情されたという逸話もあります。そういう庶民性、民と共に歩む気持ち、正義感という信州人特有の性格について、私も同じ思いで政治活動をしているのだと自分自身に納得させています。

また増田先生は郷土に様々な貢献をされました。私も負けないように、筑北村にスマートインターを誘致してきました。生誕120周年の年、そのご生家の近くにインターの設置指示が国土交通省から下りました。戦後復興という遮二無二突き進んだ時代から成熟時代へと変わりましたが、それぞれの時代の課題に最もふさわしい形で求められる政治家の役割は変わりません。

一方で先生は、二度の選挙で落選されています。昭和47年の選挙で落選された当時、松本経由で富山に抜ける新幹線構想が、上越新幹線構想に負けるという結果となり、政治基盤の強さが地元で何をなさしめるか否かを決めていくという現実を見せつけているように思われます。

本来であれば、高校、地元、役所、代議士という幾重にも縁のある先生にお話を聞いておくべきでした。先生は、これぞと思う方々と腹を割って話をしてくられたそうです。自治省勤務の若い時分に、先生が火事でお亡くなりになったとの報に新聞で接したときにはショックを受けましたが、今の立場になってみて、ますます生前にご警咳に接することができなかったことは痛恨の極みだと感じます。代議士として、こうして先生に語り掛けさせていただけることにより、泉下の先生と通じ合えておるならば大変な誉れと思っております。

これからも日本国と郷土の行方を御見守り下さい。我々も先生の目から見て恥ずかしくない国造り、郷土づくりに励みたいとお誓い申し上げます。

【自由民主党長野県第二選挙区支部】
住所:長野県松本市白坂2-3-30 大永第3ビル101
TEL:0263-33-0518 FAX:0263-33-0519
mail:office@mutai-shunsuke.jp

【国会事務所】衆議院第一議員会館403号室
住所:東京都千代田区永田町2-2-1
TEL:03-3508-7334 FAX:03-3508-3334



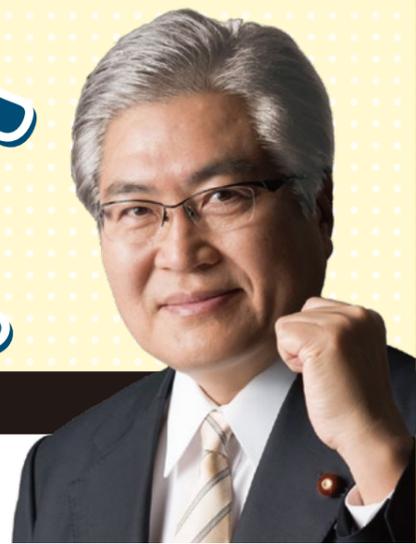
あなたの声をお聞かせください。
政策や日本の将来を語り合しましょう。
ぜひ、お気軽にお立ち寄りください!

衆議院議員 務台

しゅん すけ

むたい俊介 ニュース

2019年 新年号 / No.23



公式Twitter ▶ @mutaishunsuke facebook ▶ https://www.facebook.com/mutai.shunsuke
ホームページ ▶ www.mutai-shunsuke.jp



長野市豊野での対話集会

ごあいさつ

臨時国会が終了しました。国政に志をたててから10年が経過しました。地域の課題の解決、ライフワークとして取り組んできた、防災、再生可能エネルギー推進、地方創生などについての政策が、具体的な成果になってきていますことを心より感謝申し上げます。また信濃町、飯綱町、筑北村、麻績村と自民党支部の組織が再始動しています。足腰をしっかり固め憲法改正などの課題にも取り組んでまいります。本年も皆様のお声をしっかりとお聞きして参ります。

活動をご紹介します

地元の要望を確実に具現化しています

皆様とともに現場の視察に足を運んで地域課題を確かめて、要望を国会や政府にしっかりとお届けしています。

白骨温泉の隧通し補強、国道19号、国道158号奈川渡改良、松本波田道路の用地買収、国道143号、松本糸魚川道路、犀川堤防、国道403号、筑北村スマートIC誘致、国道18号信濃町バイパス、長野市中条シビ工施設、上高地の河床上昇対策、旧軍用墓地の維持対策、各地の災害復旧工事をお手伝いしております。



▲上高地の河床上昇をもたらす堆砂を視察

国会での質問

衆議院の総務委員会、環境委員会で質問をしました。

地方自治体の議員報酬、上高地の土砂対策などについて質疑を行い、政策を進めて参ります。



▲総務委員会で大臣からの答弁を伺う

日々の活動をwebで公開しています

公式Twitter @mutaishunsuke

facebook https://www.facebook.com/mutai.shunsuke

ホームページ www.mutai-shunsuke.jp

むたい俊介

検索



▲むたい俊介公式ホームページ

議連での活動

議員連盟では、議員立法や制度改正の議論を行っています。すでに議員立法として、「自転車活用推進法」「建設工事の安全及び、健康確保法」「祝日「山の日」制定法」「消防団基本法」を成立させることができました。これからも与野党の議員と協力して政策実現を図って参ります。



▲自転車活用議連の総会



▲フィリピン西ネグロス州でオイスカの海外養蚕事業を視察

現在までの主な役職を紹介します

(2018年12月現在)

【衆議院 所属委員会等】

- 総務委員会 委員
- 環境委員会 委員
- 憲法審査会 委員

【自由民主党役職】

- 総務部会 副部長
- 財務金融部会 副部長
- 憲法改正推進本部 幹事
- 組織運動本部団体総局 厚生関係団体委員会 副委員長
- 災害対策特別委員会 事務局長
- 過疎対策特別委員会 事務局長
- 行政改革推進本部 幹事
- 観光立国調査会 幹事
- 子どもの元気!農山漁村で育むプロジェクト小委員会 事務局長
- 観光立国調査会 屋敷林・散居村・生垣等の地域景観資源の保全・活用に関するワーキングチーム 事務局長
- 資源・エネルギー戦略調査会 再生可能エネルギー普及拡大委員会 事務局長代行
- 国家戦略本部 ふるさとに人口と活力を取り戻すPT 委員
- 観光立国調査会 観光産業活性化に関するWT 幹事
- 消防防災ヘリコプターの安全運航の確保に関する小委員会 幹事
- 自民民主党長野県支部連合会 副会長
- 自民民主党長野県第二選挙区支部 支部長

【議員連盟】

- 事務局長
 - ・超党派「山の日」議員連盟
 - ・自由民主党木質バイオマス・竹資源活用議員連盟
 - ・ふるさと納税の拡充を目指す議員の会
 - ・百年料亭ネットワーク推進議員連盟
 - ・自由民主党水道事業促進議員連盟
 - ・スキー議員連盟
 - ・自動車文化を考える議員連盟
- 事務局長次長
 - ・自由民主党消防議員連盟
 - ・合併算定終了後の新たな財政支援措置を実現する議員連盟
 - ・自由民主党介護福祉議員連盟
 - ・赤字ローカル線の災害復旧等を支援する議員連盟
 - ・捕獲鳥獣食肉利活用推進議員連盟(ジビエ議連)
 - ・火山噴火予知・対策推進議員連盟(火山議連)
 - ・自由民主党中央東線高速化促進議員連盟
 - ・地域の農林水産業振興促進議員連盟
 - ・人口急減地域対策議員連盟
 - ・日朝国交正常化推進議員連盟

●幹事等

- ・空手道推進議員連盟 幹事長補佐
- ・自転車活用推進議員連盟 事務局次長 兼 自転車活用検討PT 座長代理
- ・日本建設職人社会振興議員連盟 法制化作業チーム
- ・地方居住推進議員連盟 幹事
- ・ダム・発電関係市町村等振興議員連盟 幹事
- ・自由民主党受動喫煙防止議員連盟 幹事
- ・街の酒屋さんを守る国会議員の会 幹事
- ・国立公園レンジャー振興議員連盟 副幹事長
- ・養子縁組のあっせんの法整備を目指す議員連盟 副幹事長
- ・自由民主党再生可能エネルギー普及拡大議員連盟 副幹事長
- ・俳句のユネスコ無形文化遺産への登録を目指す議員連盟 幹事
- ・盆栽振興議員連盟 副幹事長
- ・ファームステイ(農泊)推進議員連盟 常任幹事
- ・CLTで地方創生を実現する議員連盟 副会長
- ・水力発電促進議員連盟 常任幹事
- ・棚田振興議員連盟 幹事

【その他】

- 長野護国神社総代会長
- 一般財団法人 全国山の日協議会 理事

むたい俊介プロフィール

昭和31年 (1956年) 安曇野市(旧三郷村)生まれ、大町市・旧豊科町で育つ

昭和50年 松本深志高校卒業

昭和55年 東京大学法学部卒業後、旧自治省入省、地方分権推進委員会参事官、総務省消防庁防災課長、総務省調整課長、総務省大臣官房参事官、自治体国際化協会ロンドン事務所長などを歴任

平成19年 この間武蔵大学・信州大学非常勤講師、関西学院大学客員研究員も務める

平成20年 自民党長野県第二選挙区支部長就任

平成21年 衆議院議員選挙に初挑戦

平成22年 神奈川大学法学部自治行政学科教授を務める

平成24年 第46回衆議院議員選挙で長野県第二区にて初当選

平成26年 第47回衆議院議員選挙で2回目の当選

平成28年8月から平成29年3月 内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官

平成29年 第48回衆議院議員選挙で3回目の当選

写真ギャラリー

地域を巡る中での各地区の皆様との触れ合いの一コマです。ご協力有難うございました。



安曇野市

森の子保育園を視察



池田町

安曇野球大会にて



小川村

畑で農作業をされる方と



信濃町

野尻湖の宇賀神社の例大祭にて



長野市大岡

ひじり学園の子どもたちと



山形村

収穫祭に伺う



安曇野市

犀川の堤防の未整備区間を視察



白马村

アウトドア団体を訪問



大町市

大町ダムの堆砂状況を視察



飯綱町

自由民主党飯綱町支部の設立総会



総裁選で安倍総理を長野駅に迎える



ミャンマーのアウンサン・スーチー氏と